

【件 名】	路面補修工事（6北北の12・歩道改善）	【事務所名】	北多摩北部建設事務所	
【工事場所】	東京都昭島市東町五丁目地内から同市玉川町一丁目地内	【受注者名】	協立舗道株式会社東京支店	
【工 期】	令和6年10月15日から令和7年12月3日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 佐藤 篤吏	

【工事概要】

工事延長 L=475.3m

管渠型側溝設置工	L=580.7m
歩車道境界ブロック(155型)	L=372.0m
歩車道境界ブロック(155SF型乗入部)	L=84.3m
歩車道境界ブロック(155SF型端部)	N=54箇所
車道舗装工(低騒音舗装部)	A=2549㎡
車道舗装工(密粒度舗装部)	A=1299㎡

【表彰理由】（※発注者側評価）

受注者は、駅も近く歩行者及び車両の通行量が非常に多い箇所である現場条件を踏まえ、歩道を早期に開放するため、プレキャストエプロンブロックへの変更を提案、実施した。また、技術力の発揮ではICT活用による3次元起工測量を実施した。そしてリチウムイオンバッテリーを電源とした投光器を使用しHTTの取組みも適切に実施した。

さらに、地元の都立工科高校の生徒を対象とした現場見学会を開催し、社会貢献活動にも積極的に取り組んだ。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

沿道では居住している方をはじめ夜間に営業される店舗が複数あったが、毎週工事のお知らせを配布した所、苦情等なく施工を行えました。

◇ 特に工夫した点

工事施工区間に飲食店等が営業しているので歩道舗装工施工時はお店の休日を施工範囲に当てて施工を行いました。工事完了後にお店及びお客さんにいい歩道になったねと声を掛けられました。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

しゅん工検査終了後のすべてのストレスから解放された達成感。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

当現場で都立高校生を現場に招き現場見学会を開催し土木事業を知ってもらい就職の視野を広げ生徒さんの就職の選択肢を広げてもらえると幸いです。



都立工科高校現場見学会状況